



# 令和8年度 道志小中学校研究主題

## 校内研究全体計画概要

『個別最適な学びと協働的な学びで、  
主体的に学習する児童生徒を育成する』

～ ICT を活用し、児童生徒が自ら学びを生み出す授業づくり～

～ 組織で QU・NINO を活用した安定した学級づくり～

# 令和8年度 道志小中学校研究主題

個別最適な学び



協働的な学び

主体的に  
学習する児童生徒



『個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する児童生徒を育成する』



## 授業づくり

～ ICTを活用し、児童生徒が  
自ら学びを生み出す授業づくり～



## 学級づくり

～ 組織でQU・NINOを活用した  
安定した学級づくり～

# 令和8年度 道志小中校内研

全11回

授業実践

QU・NINOの分析  
活用方法の検討・共有

# 年間計画（予定）

日付け	内容
① 4・2（水）	研究の概要説明 GKP・座席表の使い方・指導案の形式
★ 4・7（火）	中 NINO
8（水）	小 NRT 1校時国語 2校時算数
9（木）	小 NINO 1校時
② 4・27（月）	中学校授業①(数学科 3年岩村)
★ 5・12（火）	QU①（小中全学年実施）
③ 5・13（水）	QU・NINOの分析・活用
④ 27（水）	<b>小学校授業①(算数 2年新田)</b>
⑤ 8・26（水）	学習会（講師招聘「单元内自由進度」か「NINO」）
⑥ 10・7（水）	中学校授業②
⑦★ 10・14（水）	QU②（小中全学年実施）－ 午前中 QU・NINOの分析・活用 公開研究に向けて － 午後
⑧ 10・23（金）	公開研究（小学校②③＝2本 中学校③④⑤＝3本）
⑨ 12・16（水）	中学授業⑥
★ 1・19（火）	QU③（小中全学年実施）
⑩ 1・20（水）	QU・NINOの分析・活用
⑪ 2・24（水）	1年間のまとめ

# 指導案の形式について①

○年○組 ○○科学習指導案

令和○年○月○○日(○)

学習指導者 ○○ ○○○

## 1 単元名

単元名

「教科書タイトル」(出版社)

## 2 校内研究との関わりについて ※やまなし教育創造推進事業

研究主題 「個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する児童生徒を育成する」

～ICTを活用し、児童生徒が自ら学びを生み出す授業づくり～

～組織でQU・NINOを活用した安定した学級づくり～

(1) 標準化検査 WEBQU を活用して組織で「安定と活性化」を両立する学級集団づくりを実現する  
・班の3つの機能で安定をつくる (① 居場所 ② 目標を達成する組織 ③ 非認知能力の育成)

(2) 認知能力検査 NINO で自分の特性(強み・弱み)を理解し、単元ごと学びを自己調整する  
・学びとる力(記憶力、言語能力、数的能力、処理速度、思考力)を活用して深い学びにつなげる

(3) 単元を貫く言語活動でめあてを達成し、主体性・活性化を向上する  
・個別最適な学びと協働的な学び (※生徒の多様性を認め、尊重する単元内自由進度学習)  
→① 動機付け ② 学習方法 ③ 自己調整・粘り強さ

※エビデンスを活用した単元内自由進度学習でめあてを達成し、主体性・活性化を向上する。  
(学習の個性化・指導の個別化)

・「学習キャリアパスポート(GKP)」の活用

・教研式 認知能力検査 NINO、標準学力検査 NRT を活用

・教職員の合理的配慮を一元化した「座席表」活用 (WEBQU、NINO、NRT のデータ)

・協働的な学び (※現状を変え未来を創り出す力)

→① 目標達成のための交流 ② 違いを追求し、学びを広げ ③ 深め・創造する

# 指導案の形式について②

(1) WEBQU のデータを活用する ※児童/生徒・学級の実態（令和8年〇月〇〇日実施）  
※〇月現在の面談・観察の結果から。（他必要に応じて、未実施者〇名、特別支援学級在籍の記載）  
学級生活満足群〇名、侵害行為認知群〇名、非承認群〇名、学級生活不満足群〇名、要支援群〇名

- |          |  |
|----------|--|
| ①学級の型    | 少人数特別学級  |
| ②集団の発達段階 | ①緊張・混沌→②小集団→③中集団→④大集団→⑤親和的集団   |
| ③ルールの定着  | 5 内在化。教師の指示がなくても注意し合う<br>4 教師の指示が少なくてもほぼ適切に行動<br>3 教師が指示すれば行動する<br>2 指示に従うが時間がかかる<br>1 反発され教師の支持が通りにくい |
| ④リレーション  | 5 親和的。全体で本音の共有ができる<br>4 多くが誰とでも交流できる<br>3 小グループ内でそれぞれ仲が良い<br>2 不安で形成された小グループと孤立<br>1 グループ間対立・孤立・裏面交流   |
| ⑤安定度     | 5 安定化 4 固定化 3 流動化 2 不安定化 1 混沌化   |
| ⑥活性度     | 5 創造的 4 活用的 3 遂行的 2 停滞的 1 不履行  |

学級担任が普段の児童生徒の様子から見取り、QUの結果をもとに記載する

# 指導案の形式について③

## ⑦学級集団における優先事項

承認…

学級担任が普段の児童生徒の様子から見取って記載する

被侵害…

学級担任が普段の児童生徒の様子から見取って記載する  
文末に（個人の考えを形成→班で交流→全体で交流）を記載

学習意欲…

教科担当が普段の授業の様子から記載する  
文末に学習キャリアパスポートを活用（① 動機付け ② 学習方法 ③ 自己調整・粘り強さ）しながら意欲を向上させる。を記載

学習方略…

教科担当が普段の授業の様子から見取って記載する

# 指導案の形式について④

## (2) 「班活動」における日常的な取り組み

安定した学級・班の形成は、生徒が自分の考えを自由に表現し、教科の目標を達成するための重要な基盤である。生徒同士が互いを尊重し、考えを認め合える学級集団づくりが求められている。WEBQU が目指す複線型の関係性を構築するために、班には以下の3つの機能を取り入れている。

### ① 一人一人の居場所づくり

WEBQU を活用して、生徒一人ひとりの認知を把握し、面談を通じて支援の必要性や配慮事項を明確にする。これらの情報は全職員で共有し、関わり方や配慮の方法について協働で検討・実践をする。また、定期的（短期）に学級満足度調査を実施し、生徒が班に「居場所」を感じているかどうかを確認している。

### ② 目標を達成する組織として機能させる

学級集団が多様性を認め合いながら、目標を達成する公共的な組織として機能することを目指している。生徒自身が課題を見付け、主体的に解決に取り組むことで、集団としての力を高める。課題達成後には、班員の入れ替えや班長の交代、生徒同士の「ゆるくつなぐ」交流機会を増やすことを通じて、人間関係が私的な関わりで固定されないよう工夫する。

### ③ 非認知能力を育成する

「居場所」や「組織」としての機能を通じて、生徒同士が互いの個性を認め合い、本音で感情を交わせる関係性を築く。これにより、公的な場面でも誰とでも関われる人間関係の構築を目指す。

**中学校のみの記載(このままの文章で)**

# 指導案の形式について⑤

(3) 学習における児童/生徒の実態

教科担任が記載

# 指導案の形式について⑥

(4) NINO のデータを活用する    ◎強みの活かし方    △課題の補い方

① 記憶力

◎

◎

△

② 言語能力

◎

◎

△

③ 数的能力

◎

◎

△

④ 処理速度

◎

◎

△

⑤ 思考力

◎

◎

△

それぞれの認知能力をどのように活かしたり、  
補ったりするのか活用例を記載する。  
※数は認知能力や本単元によって変えてよい

**★応研の黒沢先生に事前に確認する**

→小中各校の研究主任を通して連絡を行う

# 指導案の形式について⑦

以下は、指導主事の先生方の指導助言にしたがって、  
各教科の方法で記載する

★7(1)(2)に関しては、指導助言いただいた内容に追加して以下の文言を記載★

- 3 単元構成・及び教材について
- 4 単元目
- 5 単元の評価規準
- 6 指導と評価の計画
- 7 本時指導と評価の計画 (全○時間中の第○時)

(1) 本時の目標(単元を貫く学習課題)

「」を

～を基に(考察し/取り組み)、言語活動を通じて理解を(深める/探求する)。

(2) 本時の展開

※学習キャリアパスポート(GKP)・NINOを活用した評価と指導をする。

**表の下部に必ず記載し、実践する**

# 指導案の形式について⑧

## 8 資料

(1) 学習キャリアパスポート(GKP)

学活・総合・道徳以外の教科は作成し活用する

(2)

(3)

(4)

以下、教科ごとに必要な資料があれば記載  
例) 教科書本文、授業プリント等

# GKP（学習キャリアパスポート）の活用方法①

【会科】 単元名：第2部 第2章 第4節 北アメリカ州 NINO：◎言語能力 ○処理速度 △思考力 氏名佐藤花梨

この単元で につけるべき力	知識・技能 世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、 <b>民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解</b> (言語能力・思考力・処理速度)している。	・民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。→ <b>A</b> ：関連付けをし言語化できる。	A A A 評価基準
	思考・判断・表現 <b>北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子</b> (思考力・処理速度)を基に、多面的・多角的に考察(記憶力・思考力)している。	・北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子について、多面的・多角的に考えられる。→ <b>A</b> ：資料を根拠に説明できる。	
	主体的に取り組む態度 世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。	・学習活動を自己調整し、学習内容にあった学び方を自ら考えながら取り組み、GKPで本時の学びを振り返ることができる。	

# GKP (学習キャリアパスポート) の活用方法②

単元を貫く学習課題 「南アメリカ州では、 <b>農地や鉱山の開発</b> が進むことによって、地域にどのような <b>影響</b> が生じているのか」				
習の見通し	1 (2/5)	2 (2/10)	3 (2/12)	4 (2/17)
習活動(例)	南アメリカ州の自然環境の特色は?	文化と民族の特色は? 産業変化の背景は? 開発が与える環境と生活への影響は?	学習課題と受けて自分の課題と	まとめ 全体で確認 (齊) 協働)
の) 課題設定	<b>農地や鉱山の開発</b> による <b>環境への影響</b> を <b>NINO</b> 思考力でより深めよう <b>設定させる</b>			
学習計画	北アメリカの地形や気候を教科書の地図や図表を使って取り取る	文化や民族の特色を教科書から三読能力を踏み取り場所や資料が処理を踏み取る <b>NINO思考</b>	思考で開発の影響を考える教科書を根拠に考えた10	まとめを思考力で何～をしたからどうなった」という感じに自分の中でまとめる

解決すべき課題  
疑問の

テスト実施日(2/18)・ポート

# GKP (学習キャリアパスポート) の活用方法③

学習計画	思考力をおぎないながら、北アメリカの気候や山脈などを <u>位置的に</u> 知る。	思考力を使って、 <u>位置的把握</u> やグラフを読み取って民族構成を知る。	北アメリカの農業を位置や気候から、 <u>特徴</u> を知る。 <u>(思考力)</u> 結び	北アメリカの工業の変化について <u>多面的・多角的に</u> 理解する。 <u>(思考力)</u>	人々の生活に対する環境への影響をグラフや資料を活用して、理解する。 <u>(数的能力)</u>	進んで発言し、分かったことをプリントにまとめて、理解を深める。 <u>(言語能力)</u>
目標についての振り返り 教員からの指導)	久しぶりの地理だから、雨温図を正しく読み取れず、前までは、右左ど位置を言っていたけれど、東西南北で答えられた。2か3のプリントをやっていると、今日のを忘れてしまうから、家で復習する。予習も。	大西洋って聞いて、漢字から、西かと思っていたけれど、地図に太平洋と大西洋を書いて、確認したら、東側と理解はから、これから続ける。スペイン人がコロンブスが過去に常駐して思いついた。	昨日のためにプリントに東西やグレートプレーンズなどを記入し、自分なりに分かるようにプリントをまとめた。アメリカはそれぞれの地域でその場所に合った(気候)農業をし、生産率を上げていると知った。	1人だと多面的・多角的にあり考えられなかったが、協働することで、教科書を読み深めたり、 <u>位置的把握</u> ができ、計画通りできた。気候の変化が理解しきれなかったから復習する。	グラフや資料を見て、なぜそのような数値になるのか、協働の中で人口などに注目で、考えられた。同じ環境問題が起こるかの背景も理解した。	昨日の7-7をやったけれど、今日も確認して、重要な用語が分かっていないから、背景をよく理解して、地図を見て、地形や気候が分かるようにしたい。
時の評価 (◎/○/△)	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	◎ ◎ △	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎

2 / 4 : ポートフォリオの提出 (2 / 7)

教員の負担を考慮して  
基本的には(原則)教員の  
コメントは書かない。

⇒ そのかわり授業内で随時、  
プラスの振り返りの時間に  
適切に指導と評価をする

・プリントを進める(4-5回)  
・教科書を読む(2回)  
・5を終わらせる  
・7-7

家庭学習は  
子どもが必ずと  
感じたら。

保護者印

# 座席表

3年1組

少人数特別学級

- 4 特別な支援必要なし
- 3 特別な支援が必要
- 2 いじめ、不登校につながる可能性あり
- 1 病歴（医療）、心障

- 学習支援状況
- 3 1次支援
  - 2 2次支援
  - 1 3次支援

国語

児童生徒一人ひとりの結果を教職員全体で把握し、承認感の向上や被侵害感の低下をはかる必要があります。

+	+	+	+	+
+	<p>7 ←記述</p> <p>せいと7 生徒7</p> <p>学習支援 1</p> <p>QU</p> <p>NINO</p> <p>記憶力 算数能力 数的能力 読解読算 思考力</p> <p>○ ○ ○ ● ○</p> <p>3 3 3 4 4</p>	<p>8 ←記述</p> <p>せいと8 生徒8</p> <p>学習支援 2</p> <p>QU</p> <p>NINO</p> <p>記憶力 算数能力 数的能力 読解読算 思考力</p> <p>△ ○ ○ ○ △</p> <p>2 3 3 3 2</p>	<p>9 ←記述</p> <p>せいと9 生徒9</p> <p>学習支援 3</p> <p>QU</p> <p>NINO</p> <p>記憶力 算数能力 数的能力 読解読算 思考力</p> <p>● ● ○ ○ ○</p> <p>4 4 3 3 3</p>	+
+	<p>4 ←記述</p> <p>せいと4 生徒4</p> <p>学習支援 1</p> <p>QU</p> <p>NINO</p> <p>記憶力 算数能力 数的能力 読解読算 思考力</p> <p>× × × △ △</p> <p>1 1 1 2 2</p>	<p>5 ←記述</p> <p>せいと5 生徒5</p> <p>学習支援 2</p> <p>QU</p> <p>NINO</p> <p>記憶力 算数能力 数的能力 読解読算 思考力</p> <p>○ ○ ○ ○ ○</p> <p>3 3 3 3 3</p>	<p>6 ←記述</p> <p>せいと6 生徒6</p> <p>学習支援 1</p> <p>QU</p> <p>NINO</p> <p>記憶力 算数能力 数的能力 読解読算 思考力</p> <p>△ △ △ △ △</p> <p>2 2 2 2 2</p>	+
+	<p>1 ←記述</p> <p>せいと1 生徒1</p> <p>学習支援 2</p> <p>QU</p> <p>NINO</p> <p>記憶力 算数能力 数的能力 読解読算 思考力</p> <p>○ ○ ● ○ ○</p> <p>3 4 4 4 3</p>	<p>2 ←記述</p> <p>せいと2 生徒2</p> <p>学習支援 3</p> <p>QU</p> <p>NINO</p> <p>記憶力 算数能力 数的能力 読解読算 思考力</p> <p>○ ☆ ○ ● ☆ ○</p> <p>4 5 4 5 4</p>	<p>3 ←記述</p> <p>せいと3 生徒3</p> <p>学習支援 2</p> <p>QU</p> <p>NINO</p> <p>記憶力 算数能力 数的能力 読解読算 思考力</p> <p>○ ● ○ △ ○ ○</p> <p>4 4 2 3 4</p>	+

黒板